

残留農薬

7月初旬に長野県で、8羽のカラスの死骸が相次いで発見されました。



インフルエンザの疑いがあるとして、簡易検査を行いました。すべて陰性を示しました。そこで、胃の内容物を検査したところ、有機リン系殺虫剤のEPNが検出されました。このEPNとは農薬として扱われている殺虫剤です。

そのEPN濃度を測定したところ、体重当たりのEPN量がカラスに大きさが近い鳩の半数致死量（ある物質がある状態の動物に与えた時に、その半数が死に至る量）を越えるものでした。



EPNは購入者に厳重な保管が義務付けられており、今回のケースでは通常使用する濃度を上回る事から、県は農家及び取り扱い業者に厳重な指導をしていく方針だそうです。

食品を取り扱う場合に気になる野菜の残留農薬。此の度、新発売のエコ洗剤『FCCピュアマイルド』なら安心安全の100%植物性な為、野菜の気になる残留農薬を洗い流せます。



商品名

FCCピュアマイルド
(厨房用液体石鹼)

値段 (50タイプ)

¥5,040- (税込)

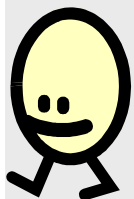
使用方法

野菜や果実、米、貝類は約300倍に薄めた溶液で洗い、2～3回すすぎます。残留農薬や貝類に付着したヘドロがきれいに落ち、本来の味と香りが取り戻せます。

食器類なら約8倍に薄め、スポンジをよく揉みながら含ませてご使用下さい。

ゴキブリ小話② ～ゴキブリの産卵～

『ゴキブリを1匹見かけると10匹はいる』とよくいわれていますが、実際はそれ以上なのです。

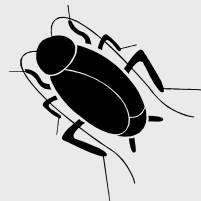


家庭でよく見掛けるクロゴキブリは1回の産卵で約20～30匹のゴキブリを産み落とします。このゴキブリは一生の内に約10～20回程度の産卵をします。

また、飲食店や食品工場などでよく見かけるチャバネゴキブリはクロゴキブリに比べて、一生の内の産卵回数は約3～5回と数は少ないものの、1回の産卵で約20～50匹のゴキブリを生むといわれています。

ゴキブリはその驚異的な繁殖力で瞬く間に数を増やしていきいます。

その為、年間を通してゴキブリ0（ゼロ）を維持する必要があるのです。



地球の環境衛生を創造する
株式会社 FCC
line, comfortable & creative

株式会社 FCC

住所: 神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32

電話 0466-31-3164

FAX 0466-31-3174

URL <http://www.fccsystem.co.jp>

E-mail info@fccsystem.co.jp

FCC News

2008年9月号

NO.0056



目次

本紙

環境に優しい“コーキング工法”とは

集団感染の食中毒菌『ウェルシュ菌』

リサイクル飼料『エコフィード』

残留農薬

ゴキブリ小話②

別紙

季節のムシ暦

商品紹介

環境に優しい「コーキング工法」とは 医学博士・農学博士 林晃史

今、食品業界の課題は「食の安全・安心」を如何に、確実に提供するかである。

この様な状況の中で、飲食店舗、厨房のペストコントロールもこれを支える柱の一つである。



では、この「食の安全・安心」を満たす、ゴキブリと云う問題虫対策には、どのような方法があるのか。

このゴキブリは、僅かな餌と隙間があれば、増え続ける厄介者である。かつては、殺虫剤による駆除・撲滅を良しとしていたが、現今、そんな時代では無くなった。

今日では、極力、薬剤の“撒布”を控えた管理方法が求められている。

これを満足させる方法には、ゴキブリの行動習性からみた必須手法として、清掃、追い出し、待伏、そして誘殺という手順がある。



その先を行く究極のテクニックが、エキスパートの「監視」に基づいた「隙間処理」である。これは、ゴキブリの特性である隙間潜伏性に着目した手法である。

この方法は、今、云われているIPM（総合的有害生物管理）の原則とする「監視」を重視し、薬剤の“撒布”によらない、潜伏場所を封鎖する「コーキング工法」と称するものである。

これは、施設の壁や基材に優しい“天然素材”のシーリング剤によるのが、特徴である。



このFCCの「コーキング工法」は、時代の要求を満たす、環境に優しいゴキブリ駆除の技術である。

集団感染の食中毒菌『ウェルシュ菌』

ウェルシュ菌は、自然界に広く分布しており、常温で放置するとたちまち増殖してしまう為、学校給食等、集団感染するケースが多い食中毒です。



昨年の発生件数は全国で27件と少ないですが、この27件の発生で出した感染者は2772人、実に1件あたりの感染者が平均100人強の集団感染の危険性の高い食中毒菌なのです。

感染後、8～24時間後に発症します。主な症状には腹痛と下痢があり、下腹部が張る事も多いのが特徴です。嘔吐や発熱はほぼ無く、意識もしっかりしています。

但し、ウェルシュ菌が産出する溶血毒の為に急死する敗血症例も報告されている為、経過に注意が必要です。



予防のポイント

食品中で1g当たり10万個以上に増殖した場合に感染しますので、食品中で菌を増殖させない事が何より重要です。

1. 大量調理時に発生する事が多い食中毒の為、前日調理や室温放置は厳禁です。調理後は速やかに食しましょう。
2. 冷凍肉は完全に解凍してから調理しましょう。再び食する前には再加熱しましょう。
3. スープ等汁物を調理する時はよくかき混ぜましょう。
4. 保存時には、素早く冷却して冷蔵庫に保存しましょう。小分けに保存するなどして、少しでも早く冷凍するのがコツです。

近年の大規模調理の増加や流通の変化、食肉を中心とした食生活への変化により、ウェルシュ菌食中毒の増加が危惧されていますので、その予防に対する再認識が望まれています。



リサイクル飼料『エコフィード』

2006年現在、日本の自給率は約40%。唯一100%の自給率を誇るのは『水』だけという有様です。



異常気象やバイオエタノールの普及などもあり、世界的な食料高騰している今、畜産の穀物飼料も価格上昇が起っています。

そんな中、九州食品工場リサイクル事業協同組合は畜産農家やコンビニ等と提携して、『エコフィード』という食品の残りを使用して作る飼料の生成に取り組んでいます。

材料は、レタスのしんや果物の皮、パンの耳など食品の通常捨てられてしまう部分を使用されており、九州北部にある食品工場やコンビニ等から16tもの量が回収され、同組合の工場に運び込まれます。



腐ってしまうと材料として使用できない為、その運搬には冷蔵車を使用し、工場内も低温管理されており万全の体制を整えています。

運び込まれた材料は、炭水化物と野菜に分けて粉碎、乾燥処理されます。

こうして完成した飼料『エコフィード』は、市販の配合飼料の半額ほどの値段で契約農家に販売されます。



1日約16t、年間にして約6,000tもの廃棄物が飼料として甦ります。

再利用しなければ産業廃棄物になってしまうものを材料にして作成される『エコフィード』。ゴミの減量にも繋がる画期的アイデアではないでしょうか？

こうした環境に貢献できるアイデア商品の開発こそ、今の日本が最も海外に貢献できる手段の一つではないでしょうか？

季節のムシ暦 ⑩

著者 医学博士・農学博士 林 晃史

痒みをもたらすお住いのペスト

猛暑日の続くこの8月、じっとしていても汗をかく。汗疹 あせも のせいばかりでは無く、肌の痒みが続く事があり、調べてみると ダニが増えていると云う事がある。

話題のダニには、室内塵性ダニと称するニクダニ類、ユナダニ類、チリダニなどが主人公である。問題のダニで、防除の対象となる主要ダニは、ヒョウヒダニチリダニである。このヒョウヒダニの発育経過および所要日数を整理すると次の通りである。

*卵期：6〜12日。

*幼虫期：発育、摂食期間が3〜5日。休眠、脱皮の後に若虫に。

*若虫期：第1第一若虫、第二若虫で10日。

*成虫

以上のように、卵期、幼虫期、および若虫期を経て成虫となる。

成虫の寿命は、平均して約30日で、産卵能力が、1日に3〜4個で、一生に約50個ということである。

成虫の寿命は、条件によって若干、異なるが雌が22〜103日、雄で14〜62日で、授精能力が40日前後、約4回の授精が可能である。

ヒョウヒダニ成虫の体長は0.3〜0.5mmで体重は16〜20μgと云う小型でありながら産卵能力に優れている。

発育所要日数は、環境条件で若干の長短がある。その実測値を上げると次の通りがある。

温度20℃、湿度75%-----60〜65日
温度25℃、湿度75%-----23〜24日
温度30℃、湿度75%-----16〜17日

以上であるが、至適条件は、25℃で湿度80%と云われている。いずれにしても、温度が高くなると発育所要日数は短くなり増殖が盛んとなる。

では、このダニの餌は何か。

ヒョウヒダニは、人の垢やフケのように人由来の残渣を餌にしている。その他、カビ、花粉、食品の屑、昆虫の死骸なども餌となる。

したがって、多発する場所は、室内の畳、じゅうたん、ふとん、マットレス、毛布、枕、椅子、ソファ、座ぶとん等である。特に、蒲団（ふとん）には、高密度のダニが生息している。

問題のヒョウヒダニは、夏から秋にかけて繁殖ピークを迎える。調査によると「ぜん息の症状」が重くなる傾向もある。

夏場の蒲団「干し」は、ダニの対策の第一歩である。今回は、ダニと健康の関係について紹介する。



【写真説明】

ダニと誤解されるチャタテムシ、
しかし、この発生が目立つとダニの警戒が必要だ！！

エコ商品に興味のある方は商品カタログを送付させて頂きますので、是非ともご連絡をお待ちしております。

**100%植物性にして、強力な洗浄力！
今、FCCで一番お勧めの商品です。**

100%植物性だから、手荒れやアトピーにお困りの方にもご使用頂けます。

今話題の野菜や果物、の残留農薬も洗浄できます。

植物から抽出した天然コロイドにより、頑固な油汚れも強力に落とせます。

**商品名：FCCピュアマイルド
(厨房用・5ℓ)**

値 段：¥5,040- (税込)



頑固な油汚れにはこの商品！

ガスレンジや換気扇の油汚れに、床洗浄に、グリーストラップ清掃に、配水管の油汚れには、この商品で決まり！

非イオン系活性剤が油を乳化して包み込み油そのものの性質を消失させる為、油汚れに抜群の強さを発揮します。

また、揚げ物にご使用した油に本商品を混ぜると油の性質が分解される為、そのまま排水しても環境を汚しません。

**商品名：FCCオイルクリーン
(1ℓ)**

値 段：¥3,150- (税込)



**ネズミの腐敗臭をこれで解消！
高い除菌力・脱臭力を有します。**

二酸化塩素ガスが建物内の天井裏などまで、隅々まで作用する為、何処で死んでいるか特定できないネズミの死骸にまで効果を発揮します。

二酸化塩素は次亜塩素より高い除菌力を有する為、強力に除菌・脱臭をします。更には、防腐・防カビにも効果を発揮します。

商品名：FCCデオドラントGEL

値 段：¥2,100- (税込)



**配管のつまりや臭い、汚水や汚泥の浄化には
この商品！**

トイレにはトイレ用をご使用下さい。

悪臭、配管のつまり、汚水や汚泥の浄化に高い効果を発揮します。特に油汚れが酷い場所には、上記『FCCオイルエコ』と併用頂く事をお勧め致します。

また、トイレの悪臭や汚れには水タンク用80g (¥1,575-) または男子小トイレ用35g (¥1,260-) をご使用下さい。

**商品名：FCCバイオ球
(30個入り)**

値 段：¥8,925- (税込)



8月19日(木)～21日(木)の『居酒屋産業展』にて、弊社オリジナルエコ新商品の発表を致しました。
此の度、販売開始した新商品の一部をご紹介をさせて頂きます。

エコ商品紹介